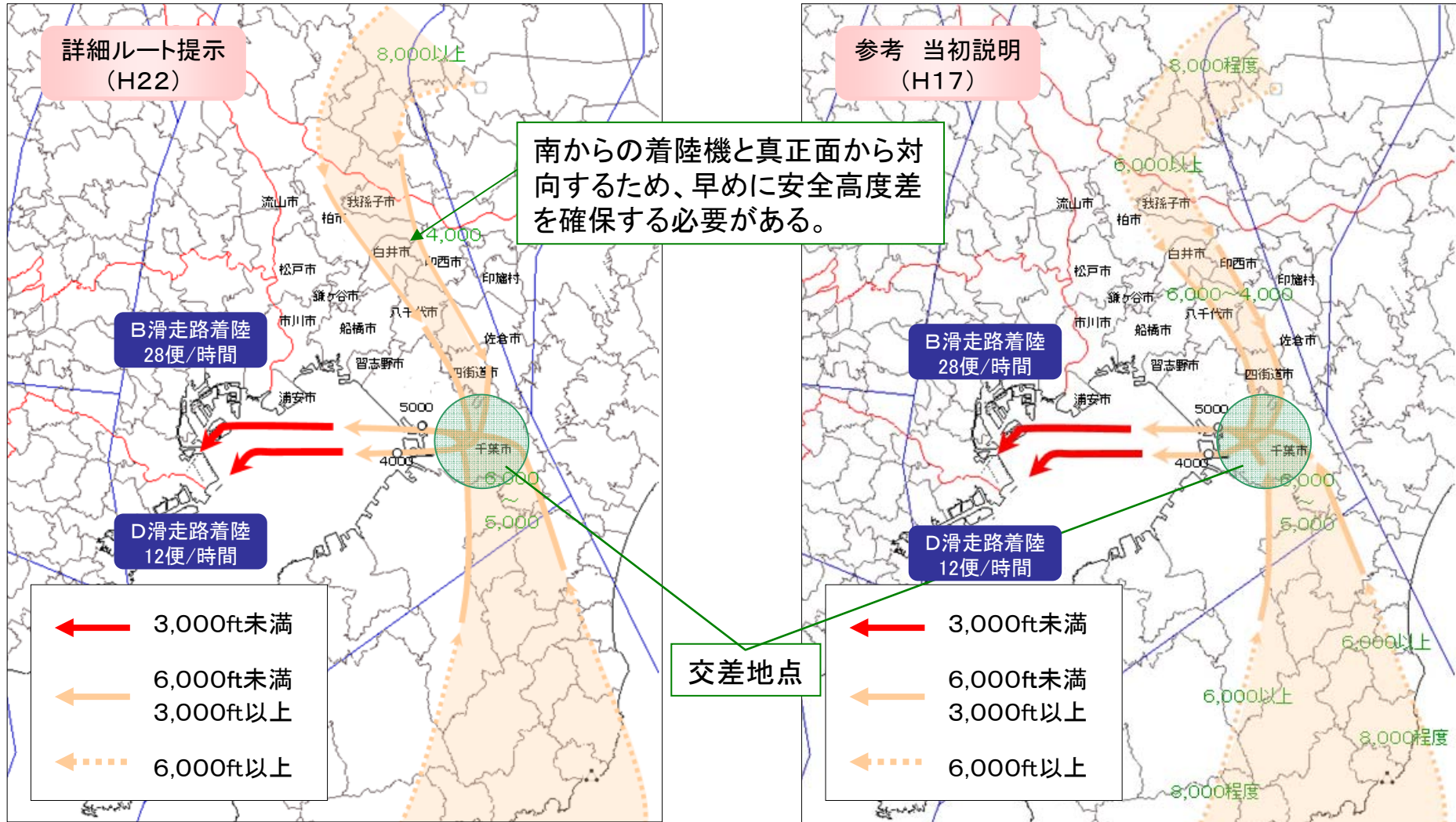


羽田再拡張後の飛行ルートについて(南風時:運用比率(想定)37%)

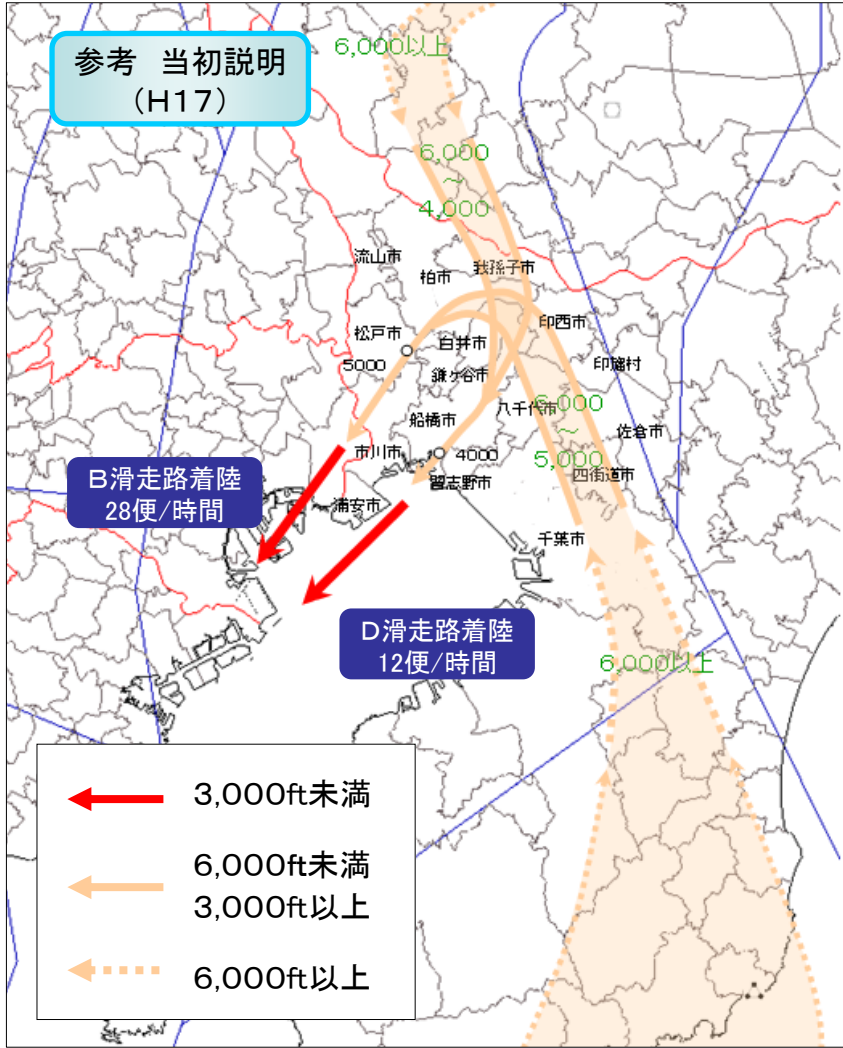
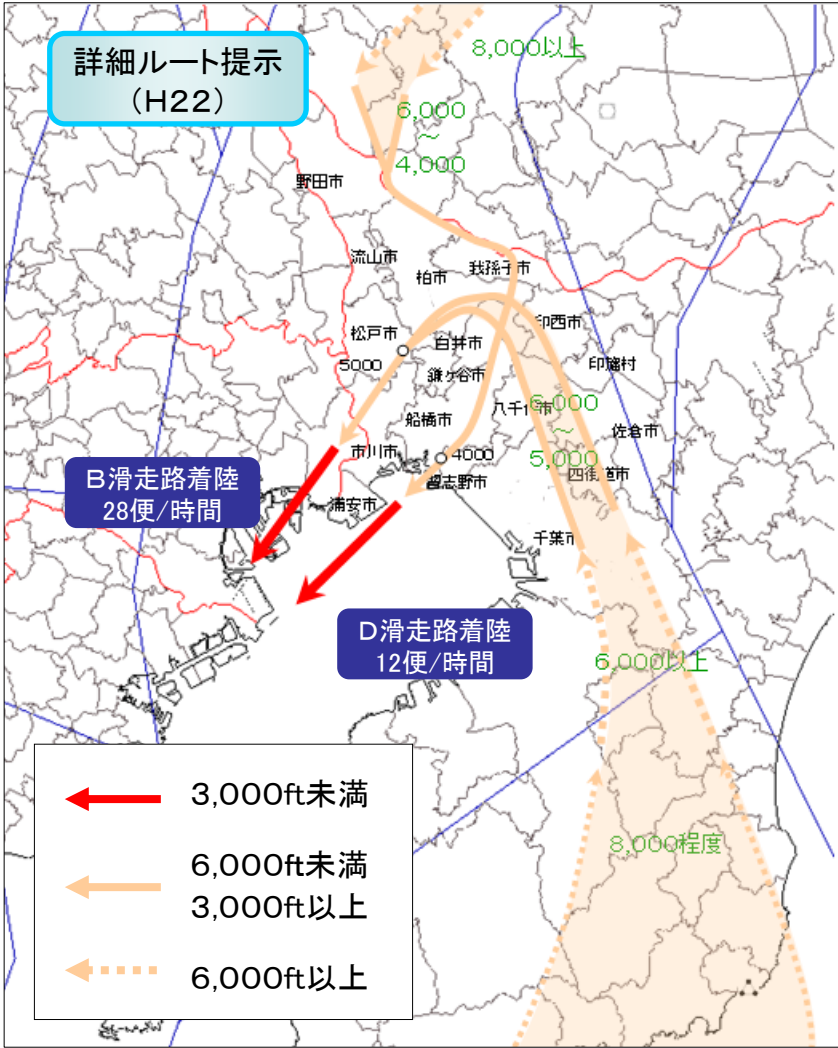
着陸ルートの交差を要しており、北海道・東北方面からの着陸機飛行ルートについて、安全確保のため、早めに対向機(南方面着陸機)との高度差(1,000ft)を確保する必要がある。



ここに示す飛行ルートは、レーダー誘導による標準的な飛行の範囲と流れを示すイメージであり、固定されたルートではない。
また、高度については、進入開始高度まで降下する際に想定される通過高度を示すものであり、維持すべき高度を示すものではない。

羽田再拡張後の飛行ルートについて(南風悪天時:運用比率(想定)3%)

着陸ルートの交差を要しており、北海道・東北方面からの着陸機飛行ルートについては、対向機との安全な高度差(1,000ft)を設定するのに十分な降下飛行距離を確保する必要があり、ルートの蛇行が必要となる。



ここに示す飛行ルートは、レーダー誘導による標準的な飛行の範囲と流れを示すイメージであり、固定されたルートではない。
また、高度については、進入開始高度まで降下する際に想定される通過高度を示すものであり、維持すべき高度を示すものではない。